

01 | 2019年度 プロジェクトS活動報告①

1 釣り桟橋検討部会での検討状況

- 既存揚桟橋を活用した釣り桟橋事業
 - ✓入込客数試算
 - ✓ランニングコスト試算
 - ✓流用施設健全性調査
 - ✓釣りに関する人員・施設の配置（安全面の検討）
 - ✓桟橋での試験釣行、魚種調査（11月）



（参考） 桟橋試験釣行(4日間) （抜粋）

魚種	サイズ	数量
アイゴ	25cm～30cm	10匹以上
アジ	15cm～20cm	250匹以上
イシダイ	20cm～25cm	10匹以上
オオモンハタ	15cm～20cm	20匹以上
カサゴ	12cm～23cm	20匹以上
カワハギ	15cm～30cm	10匹以上
グレ	20cm～45cm	20匹以上
ハタ	18cm～20cm	2匹
ハモ	100cm	3匹
マダイ	23cm～25cm	2匹

2 アクティビティ検討部会での検討状況

- 尾鷲のアクティビティの活用
 - ✓尾鷲の豊かな自然・資源の棚卸整理
 - ✓拠点機能の検討
 - ✓プレーヤー組織づくり検討
 - ✓グランピング、オートキャンプ場等の検討

3 教育・スポーツ振興検討部会での検討状況

- 既存施設を活用したスポーツ振興
 - ✓スポーツ・リクリエーションの検討（野球場等）
 - ✓市民の憩いの場の創出検討（公園・遊歩道）
 - ✓社会見学、視察整備検討（PJ-E、PJ-Aとの連携）

01 | 2019年度 プロジェクトS活動報告②

企業との意見交換会

実施時期	活動概要
5月	✓ 企業等との意見交換会（3社）
6月	✓ 企業等との意見交換会（5社）
7月	✓ 陸上自衛隊、海上自衛隊横須賀地方総監部との意見交換会 ✓ 企業等との意見交換会（2社）
8月	✓ グリーンスローモビリティ、グランピング視察（岐阜県中津川市） ✓ 企業等との意見交換会（4社）
9月	✓ 企業等との意見交換会（2社） ✓ 渚の交番事業に係る意見交換会（静岡県御前崎市、磐田市）
10月	✓ 企業等との意見交換会（3社）
11月	✓ 企業等との意見交換会（1社） ✓ 経済産業省中部経済産業局との意見交換会
12月	✓ 企業等との意見交換会（6社）
1月	✓ 企業等との意見交換会（6社）
2月	✓ 渚の交番事業に係る意見交換会（宮崎県宮崎市） ✓ 飲食物販施設（福岡県岡垣町）、グランピング視察（福岡県福津市） ✓ 企業等との意見交換会（1社） ✓ 中部地方整備局四日市港湾事務所との意見交換会



プロジェクトSにおけるコンセプトの明確化

集客交流人口の拡大に向けて

市民の皆さまのエネルギーによって、親子3代にわたり持続可能な人を呼び込む場を創出することを目指し、尾鷲ならではの魅力を活かした持続可能な仕組みを構築する。

1

Vision

**発電所跡地再生による、
地方創生の先進モデルとなる**

地域一体となった、前例のない
持続可能な自然と暮らしの共生モデル。

2

Mission

**市民のエネルギーによって
親子3世代が集う
持続可能な交流拠点**を創る

ヒトや自然のエネルギーを借りて、
経済活動が循環する街を創る。

3

Value

**再開発でなく再生、
造るのではなく還す、
自然に還すことで
尾鷲本来の価値**を取り戻す

新しく未来都市を創るのではなく、
尾鷲の魅力や資源を最大限に活かす。

02 | 2019年度 プロジェクトE 活動報告①

1 - 1 エネルギー関係活動実績

時期	活動概要	時期	活動概要
4月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 尾鷲市との市有林活用、林業実態などに関する意見交換 ✓ 熱供給コンサルとの排熱活用に関する打合せ ✓ 三重県・三重大学との意見交換 ✓ 木質バイオマス検討部会開催 ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換（現地視察） 	10月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ バイオマス燃料調達に関する商社との意見交換 ✓ 木質バイオマスプラント設備視察 ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ ✓ 県森連・県木連・三重県との意見交換 ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換 ✓ 森林組合おわせ・林業関係者との意見交換
5月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ ✓ 木質バイオマス検討部会事前打合せ ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換（現地視察） 	11月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 林業事業者との意見交換 ✓ 製材事業者との意見交換 ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ ✓ 木質バイオマスプラントメーカー意見交換
6月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマス検討部会開催 ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ（三重県、尾鷲市、森林組合おわせ、コーディネーター、中電グループ） ✓ 隣県林業関係者との意見交換 ✓ 熱供給事業コンサルとの排熱活用に関する打合せ ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換 	12月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマス燃料調達に関する打合せ ✓ 東紀州地域林業関係者との意見交換 ✓ 三重県との意見交換 ✓ 森林組合おわせ・林業関係者との意見交換 ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換
7月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ ✓ バイオマスコーディネータとの打合せ ✓ 三重県との意見交換 ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換（現地視察） 	1月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマスプラントメーカーとの意見交換 ✓ 森林組合おわせ、林業事業者との意見交換 ✓ 三重県との意見交換 ✓ 木質バイオガス商社との意見交換
8月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ ✓ 熱供給コンサルとの排熱活用に関する打合せ ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換（環境コンサルとの意見交換） 	2月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 森林組合おわせ・林業事業者との意見交換 ✓ 木質バイオガスプラント現地視察 ✓ 木質バイオマスプラント現地視察 ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換
9月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオマス燃料調達等に関する打合せ ✓ 木質バイオマスプラントメーカー意見交換 ✓ 熱供給コンサルとの排熱活用に関する打合せ ✓ 森林組合おわせとの意見交換 	3月	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 木質バイオガス商社との意見交換 ✓ 東紀州地域林業関係者との意見交換 ✓ 森林組合おわせとの意見交換 ✓ 東紀州5市町準備会との意見交換

02 | 2019年度 プロジェクトE 活動報告②

1 - 2 意見交換・情報収集実績一覧

プラントメーカー	林業関係企業		各種団体	エネルギー関係企業
✓ 木質バイオマス発電設備・ ごみ処理施設メーカー 12社	✓ 県内 東紀州地域 13社 ✓ 県内 その他地域 14社	✓ 県外林業関係企業 13社	✓ 三重県 ✓ 尾鷲市 ✓ 三重県森林組合連合会 ✓ 三重県木材共同連合会 ✓ 県内森林組合（7組合） ✓ 近隣県森林組合 ✓ その他組合（4組合） 計 16団体	✓ エネルギー事業運営企業 5社 ✓ エンジニアリング企業 5社 ✓ その他関連企業 4社

1 - 3 バイオマス燃料調達検討ワーキング体制

おわせSEAモデル協議会
プロジェクトEリーダー

中部電力（株）

中部電力(株)

(株) 中部プラントサービス

バイオマスコーディネーター

燃料調達企業訪問活動メンバー

尾鷲市政策調整課

尾鷲市水産農林課

森林組合おわせ

三重県農林水産部

三重県雇用経済部

その他関係者随時

2 木質バイオマス部会での主な活動内容

■ バイオマスコーディネータの招聘

尾鷲木質バイオマスプロジェクトの円滑な推進を目的として、林業界のキャリア豊富な人財をバイオマス部会のコーディネーターとして招聘し、林業の現状、東紀州地域賦存量、効率的な材の搬出検討、林業集約化、新規調達先の開拓など幅広く助言を受け今年度のプロジェクトを推進した。

■ バイオマス燃料調達に特化した検討ワーキングの立上げ

木質バイオマス部会とは別に燃料調達に特化したワーキングを設立し、東紀州地域賦存量調査、調達目標の設定と課題の抽出、その解決策となる山からの効率的な材料搬出、林業への還元率増加など山林関係者が自立循環できるスキームの検討を進めた。

■ 燃料調達交渉

ワーキングにて既存のチップ製造事業者を抽出し、その中で余力が見込め調達の可能性がある事業者、近隣県の新規供給事業者など40社以上へ営業活動をグループ会社と共に実施し調達量や事業性が確保できる未利用材での価格交渉を実施してきた。（現在進行形にて継続中）

■ 燃料調達想定（現状）

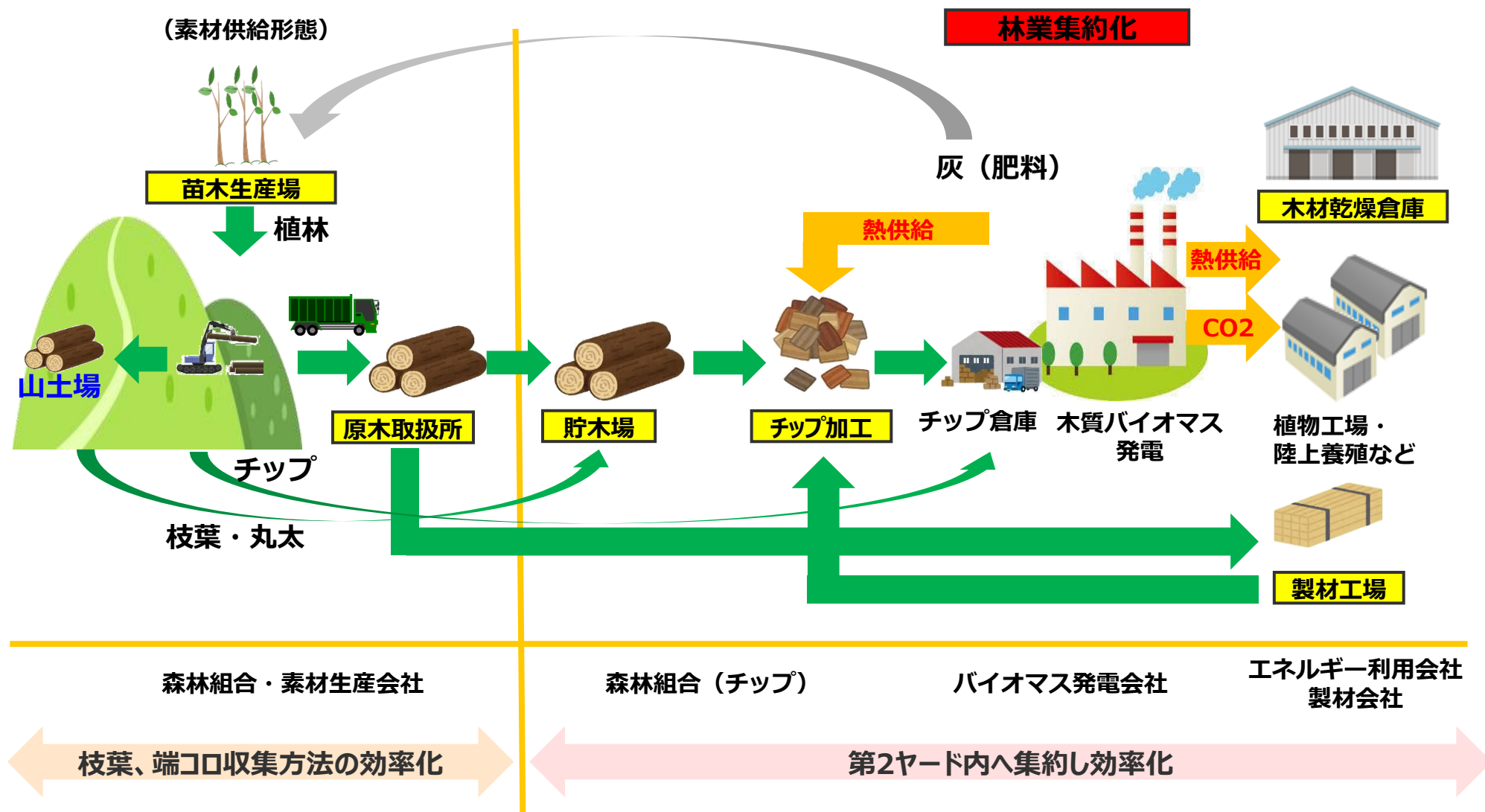
燃料調達（未利用材）：17,000t／年

■ 来年度の方針

今年度目途が整った調達量にて実現可能な木質バイオマス設備の機種選定を行い、詳細設計のフェーズへ移行し法令関係、FIT（固定価格買取制度）申請等の手続きを進める。

02 | 2019年度 プロジェクトE 活動報告④

3 林業集約化 木質バイオマス発電事業モデル案



03 | 2019年度 プロジェクトA活動報告①

アクア事業に係る活動

エビ類

- ◆ 陸上エビ養殖事業者を視察・意見交換（和歌山4/10）
- ◆ 三重大学筒井准教授にウシエビ養殖に係る研究を委託（三重大学4/22）
- ◆ 陸上エビ養殖システム企業 I 社にヒアリング（東京5/15）
- ◆ 漁業関係者にウシエビの生態についてヒアリング及び実験用ウシエビ採捕依頼（高知7/4 浜松7/19）
- ◆ 岐阜県H社バナメイエビ養殖場視察・意見交換・誘致協議（岐阜8/30 10/27 11/24 12/25 尾鷲9/25 12/16）
- ◆ 三重大学にて筒井准教授がウシエビの飼育実験開始（11/1）
- ◆ 豪大使館商務官とウシエビの陸上養殖事業について意見交換（三重11/7）
- ◆ 県内バナメイエビ養殖新規参入事業者D社の視察・意見交換（三重12/16）
- ◆ (株)テクノ中部が養殖技術であるバイオフィロックテクノロジー（以下BFT）によるB F 生成を試みる（愛知6/24～）
- ◆ 三重県栽培漁業センターにBFTに係るヒアリング（7/18）
- ◆ **三重県水産研究所尾鷲水産研究室にてBFTによるバナメイエビの飼育実験開始（1/20～）**
- ◆ 国内大手クルマエビ養殖事業者T社にバナメイ養殖にヒアリング及び事業化について協議（福岡2/11）

海ブドウ・藻類

- ◆ 三重大学岡崎准教授に海ぶどうの機能性成分に係る研究を委託（三重大学5/10）
- ◆ 岡崎准教授と海ぶどう養殖事業者Y社と意見交換（三重6/6）
- ◆ **Y社による海ぶどう養殖実験を尾鷲水産研究室にて実施（7/3～8/23）**
- ◆ Y社に海ぶどう事業のF S 調査ヒアリング（三重10/31）
- ◆ 上場機械メーカーN社と藻類養殖事業について意見交換・事業誘致（尾鷲11/26 三重大学11/11 12/12）
- ◆ 新規参入希望事業者と海ぶどう養殖事業化について協議（尾鷲2/25）

魚類・貝類 他

- ◆ 外資系魚類養殖システム企業と意見交換・事業誘致（尾鷲7/8 東京12/2 尾鷲2/17）
- ◆ 県内貝類養殖企業M社と意見交換・事業誘致（三重12/10 尾鷲2/24）
- ◆ 中部地区大手小売企業V社と意見交換・事業誘致（愛知1/23）
- ◆ 陸上養殖関連セミナー参加（陸上養殖勉強会 他）（東京8/23 鹿児島10/9～11 大阪2/19 松阪3/4）

03 | 2019年度 プロジェクトA活動報告②

アグリ事業に係る活動

- ◆ アグリ事業検討部会において胡蝶蘭事業を手掛ける上場企業A社によるプレゼン実施 (尾鷲4/25)
- ◆ (株)テクノ中部と県内アグリベンチャー企業P社を視察 (三重5/30)
- ◆ 農業ジャーナリストにアグリ事業のトレンドについてヒアリング及びアグリ事業者への仲介依頼 (東京5/14 尾鷲9/5)
- ◆ アグリ事業投資会社D社と意見交換 (東京5/14)
- ◆ 大手アグリ事業者H社と意見交換 (茨城5/15)
- ◆ 菊切り花生産事業者Oグループ及び設備販売事業者I社視察・意見交換 (愛知9/5)
- ◆ 菊切り花生産事業者Oグループによる現地視察・意見交換・誘致協議 (愛知9/5 尾鷲9/6)
- ◆ バイオマスエネルギーを活用した大規模植物工場視察・ヒアリング (北海道10/10 岡山2/12)
- ◆ 県内バナナ農園を視察 (三重10/18)
- ◆ 県内大手食品会社T社の植物工場視察・意見交換 (三重10/18)
- ◆ アグリ事業に投資する県内企業B社にヒアリング・協力依頼 (三重2/7)
- ◆ アグリを中心とした県内産直市場M社にヒアリング (三重2/7)

その他

- ◆ 飲食・物販施設について地元事業者と意見交換
- ◆ 飲食・物販施設並びに宿泊・アクティビティ施設の視察・ヒアリング・事業誘致 (福岡 他)
- ◆ 飲食・物販施設について有識者へのヒアリング・協力依頼
- ◆ 大手損保会社とSDGsについて意見交換
- ◆ A-FIVE (株式会社農林漁業成長産業化支援機構) と意見交換
- ◆ 三重県と企業誘致施策等について情報交換・意見交換 (雇用経済部・南部地域活性化局 他)
- ◆ 三重大学・三重TLOと新事業の可能性について情報交換・意見交換

03 | 2019年度 プロジェクトA活動報告③

《 バイオフィロックテクノロジーシステム（BFT）によるバナメイエビ飼育実験 》

目的： 従来の養殖方法に比べ、生産性向上が期待できるBFTを用いたエビ類の飼育を行い実用可能な知見を得る。

体制： アクア事業検討部会・陸上エビ養殖研究会のメンバーで実施

協力： 三重県水産研究所 尾鷲水産研究室（実験実施場所）

概要： 2020年1月20日に稚エビを搬入し、500 L 規模の水槽を用いた飼育実験を開始。実験区は収容密度の違いによる3区を設け、生産効率を把握するための基礎データの取得を目指した。



実験中間報告

- 実験開始直後、水質変動が大きく数日で多数が斃死。
- 生残が著しく低下したため比較実験を中止して、1水槽に集約。
- 飼育方法を改善し、水質は安定。少数個体の飼育を継続

今後の活動

- 稚エビの買付ルートの確立・エビ飼育のノウハウ取得
- BFTを含む効率的・経済的な養殖システムの検討
- 事業化可能性調査・マーケティング調査
- 事業スキームの検討・事業計画の策定



03 | 2019年度 プロジェクトA活動報告④

《 海ぶどう養殖実験 》

目 的 : 尾鷲湾内水の海ぶどう養殖利用の適合性を調査
体 制 : アクア事業検討部会・海ぶどう養殖事業者による研究
協 力 : 三重県水産研究所 尾鷲水産研究室
概 要 : 尾鷲水産研究室屋外にて海ぶどうの母藻を用いて実験開始
尾鷲湾内水をかけ流し方式により供給 (7月3日～8月23日)

実験結果

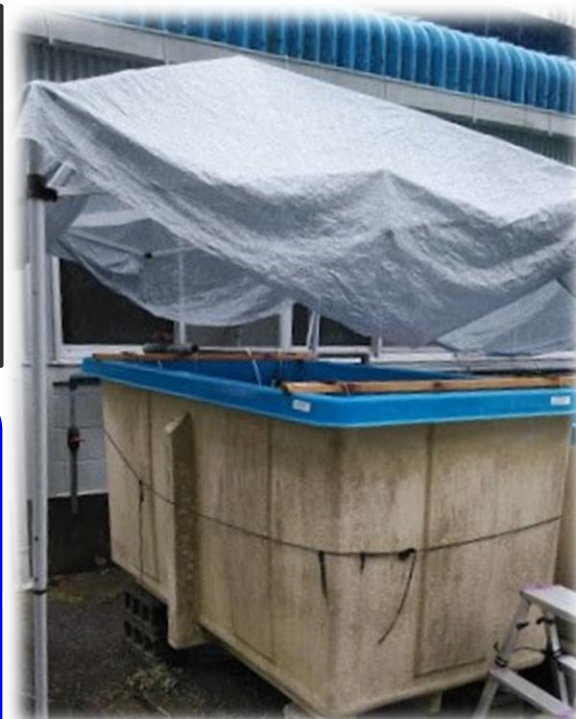
- 開始直後は悪天候が続いたが、20日後には刈取りが可能なほど成長
- 7月後半の台風の際、遮光ネット撤去の為、紫外線のダメージにより成長停止
- 8月に入り、回復は見られたが、商品としての価値まで回復せず実験終了



尾鷲湾内の水質に問題なし
事業化の際は、設備を整えるため紫外線等に対応可能

今後の活動

- 海ぶどうのマーケティング調査 (進行中) 及び F S 調査
- 来期の海ぶどう養殖実験再開
- S P C 設立、プラント設計・建設等のスケジュール作成
- 事業資金の検討及び地代・水道代等の提示



03 | 2019年度 プロジェクトA活動報告⑤

《 菊切り花生産事業者グループ 》

9月5日 グループ定例会議を視察（愛知県）

9月6日 グループ代表及び協力企業が尾鷲を視察

グループの特徴

- グループの年商20億円（業界最大規模）、今後も拡大傾向にあり
- 大分県と愛知県を中心に生産拠点をもち、高品質商品を安定的に供給することで強いマーケットを構築
- 独立希望の若手を育て、独立後も定例会議等で生産技術やマーケットについて研修を実施
- ロボットやIoT等の先進技術導入にも積極的
- 尾鷲の環境的条件については、これまで培ったノウハウがあるため問題ない
- 資金的・費用的条件が整えば、進出に意欲的

資金的条件：国の補助に加え、県・市からの補助、政策金融公庫の活用

費用的条件：土地・水道等の費用

今後の活動

- 資金的・費用的条件の整理・提示
- 排熱利用の提案・検証
- 当地域及びSEAモデル関係事業者とのシナジー検証

